



体験・学習



区分	番号	名称	教室名	応援団での活用	ページ
体験・交流系	1	七夕 まこも馬	熊谷市放課後子ども教室「星の子ふれあいビレッジ」	○	72
	2	お茶の世界を体験しよう	和光市放課後子ども教室		73
	3	茶道、着付け教室	幸手市放課後子ども教室	○	74
	4	筆と墨で遊ぼう	朝霞市放課後子ども教室(朝霞第十小学校)		74
	5	能楽教室	川口市放課後子ども教室「飯仲いきいきひろば」		75
	6	流しそうめん大会	三郷市放課後子ども教室「わくわく皆みずぬま」		76
	7	焼き芋パーティー	杉戸町立杉戸第三小学校放課後子ども教室		77
	8	大根作り	杉戸町立杉戸第三小学校放課後子ども教室		78
学習系	9	数字パズル(やさしい数独)	深谷市桜ヶ丘小学校がんばル〜ム	○	79
	10	おもしろ数字	横瀬町放課後子ども教室		80
	11	そろばん教室	幸手市放課後子ども教室	○	80
	12	ミュージックベル教室	熊谷市放課後子ども教室「別府ふれあいスクール」	○	81
	13	楽しい音楽<クレッシェンド>	久喜市放課後子ども教室「けやきっ子ゆうゆうプラザ」	○	82
	14	英語で遊ぼう	久喜市放課後子ども教室「けやきっ子ゆうゆうプラザ」	○	83
	15	モールヘビを踊らせる	久喜市放課後子ども教室「あおげっ子ゆうゆうプラザ」		84
	16	アラゴの円板	久喜市放課後子ども教室「三箇ゆうゆうプラザ」		85
	17	ハンドパワーボトル(浮沈子)	蕨市立南小学校区放課後子ども教室		86
	18	日光写真	鴻巣市立鴻巣北小学校放課後子ども教室	○	87
	19	ダンゴムシの迷路脱出	鴻巣市立鴻巣東小学校放課後子ども教室		88

分類	体験・学習	所要時間	90分
名称	七夕 まこも馬	所要人数	25人程度(指導者10人程度)
活動場所等	多目的教室		
おすすめポイント	地域に伝わる伝統の七夕飾り「まこも馬」が体験でき、指導者を長寿会の方をお願いしているので、世代間交流ができます。		
準備する物	まこも・編んだ縄・はさみ		

◆内容(作り方、遊び方等)

『まこも馬』の作り方

- ① まこもとは、水田の用水や沼地に生えている葦科の植物です。刈り取ったら天日で1週間ほど青く干し上げます。
- ② まこもを2本ほど束にし、中心から半分に折り曲げ頭と前足を作ります。馬首にまこもの茎を利用して、たて髪をからげていきます。たて髪は7本強く巻きつけ下部は前足となります。
- ③ 前足の付け根を縄で結び足を開きひざの部分、ひづめの部分にも縄を結びつけます。
まこも2本を半分に折り左右の前足にそれぞれ挟んで胴体とします。
- ④ 後ろ足を2本作ります。まこもを2本半分に折り左右の胴体に挟みひざの部分、ひづめの部分に縄を結びつけます。後ろ足の付け根に縄を結びます。
はさみで足の長さ、尾の長さを整えて完成です。

①



②



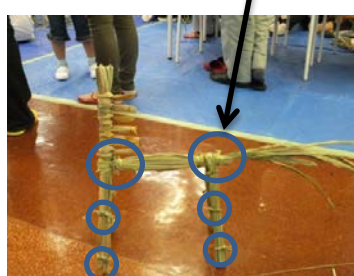
③



④



縄で結ぶ



まこも馬とは、七夕のお飾りです。雄と雌を作り縄でつなぐのは、ひこぼし様とおり姫様が会えますようにと願いが込められているそうです。




◆工夫したところ

児童が飽きないように4・5人のグループに2人の指導者についてもらい声かけを大切にしました。代用するなら、まこもは稲わら、編んだ縄は造園用のシュロ縄等を使用するとよいと思います。

◆児童等の感想

たて髪をつけるのが難しかったけど、おばあちゃんに手伝ってもらって上手に出来ました。まこものいいにおいがしました。

教室名	熊谷市放課後子ども教室「星の子ふれあいビレッジ」
-----	--------------------------



		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	60～90分
名称	お茶の世界を体験しよう	所要人数	18名程度
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	本格的茶道を五感で体験できる。静の世界を学べる。		
準備する物・人	茶道具一式、8畳分のござ、人数分の金平糖(ようかん等でも良い)、茶道指導者		
◆内容(作り方、遊び方等)			
<p>＜初めて開催する茶道教室＞</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 茶道の流派、茶道用語、先生の名前を黒板・ホワイトボード等に、分かりやすく書いておく。 ② 先生の紹介後、少し茶道の話をしてもらい、お手本をみせてもらう。 ③ 円陣になり、先生の点てたお茶を飲む。(作法と抹茶を体験) その時には、サポートする指導者2名が飲む時の簡単な作法を指導する。 ④ もう一度、体験したい子(ほとんど全員が手を挙げる)が再度体験する。 ⑤ 足をくずし、リラックスしながら先生への質問や感想を述べる。 ⑥ 礼儀正しく挨拶をし、先生方へ感謝の言葉を伝える。 			
			
<p>＜2回目に開催する茶道教室(自分でお茶を点ててみよう)＞</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 前回同様に、茶道の流派、茶道用語、先生の名前を黒板・ホワイトボード等を書く。 ② 先生のお手本を見た後、3つのグループに分かれる(各グループに指導者がつく) ③ 一人一人茶碗に抹茶を入れ、茶せんで立て、自分で立てたお茶を飲むか、隣の人に立ててあげるかグループごとに進めていく。普通はひとり2回体験する(自由選択) ④ リラックスして、各指導者とお茶の会話を楽しむ。 ⑤ グループを解除し、円陣になり、先生方へ感想・質問をする。 ⑥ きちんと礼儀正しく挨拶をして、感謝の言葉を伝える。 			
			
<p>【重要】</p> <p>茶道の先生に子どもを対象に体験させたい意向を伝え、基本は大人と同じで細かい作法をどう進めていくかを十分に話し合い、相互理解を深めておく。</p> <p>日本の伝統文化を小学生に伝承していこうという体験学習の意向を同じくする。</p>			
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> ● 抹茶は苦いので(先生が高級な抹茶を使用しているので、さほど苦くはないが)、飲む前に甘いものを口に入れなければならない。衛生上、個別包装の金平糖を選んだ。 ● グループに分ける際、学年と性別を考慮して事前に分けておいた。 ● 長時間の正座と沈黙は、子どもにとって苦痛となりかねないので、途中で足を伸ばさせる等のリラックスタイムをとった。 ● 抹茶は子どもにとって濃いので、水(ミネラルウォーター)を用意した。 			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> ● 抹茶が甘かった。 ● 難しいと思ったけど、楽しかった。 ● 苦いと思っていたけどおいしかった。 ● また、やりたいと思った。 			
			
教室名	和光市放課後子ども教室		




		応援団での活用	○
分類	体験・学習	所要時間	60分
名称	茶道、着付け教室	所要人数	20人程度
活動場所等	空き教室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 礼儀、作法を教わることができる。 ・ お茶を立てたり、お菓子を楽しむことができる。 		
準備する物	浴衣、帯（費用：300円）		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 空き教室内をお茶会のできる空間にする。 ② 着付けの先生の指導を受け、子ども達は浴衣に着替える。 ③ お茶の礼儀、作法(おじぎのしかた、あいさつなど)を教わる。 ④ お茶、お菓子のいただき方を教わる。(実際に飲食を行う) ⑤ お茶の立て方を教わる。(体験) <p>◆工夫したところ</p> <p>お湯は本来、炭を使って沸かすが、教室内では炭は使えないので、あらかじめお湯を電子ポットで持ち込み、茶釜にお湯を入れた後は、釜のお湯が冷めないよう、炭の代わりに電熱器を使った。</p> <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 浴衣を着ることができてうれしかった。 ○ お茶を立てるのがおもしろかった。 ○ あいさつの大切さがわかった。 			
教室名	幸手市放課後子ども教室		

		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	120分
名称	筆と墨で遊ぼう	所要人数	25人程度
活動場所等	空き教室等(水道が使える場所がふさわしい)		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年年齢に関係なく楽しめる。 ・ 上達を感じて、成長を楽しむことができる。 		
準備する物	大字用の紙、筆、下敷き等		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>講師の指導の下、習字の上達よりも、字を書くことを楽しんでもらえるよう取り組んだ。</p> <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市内の書道教室を運営している方に講師を依頼し、指導や進め方はお任せした。 ○ ただの書道になってしまわないよう、木の板に字を書いたり、大字に挑戦する等様々な趣向を凝らして行った。 ○ 最後の教室の際に、保護者にも参加してもらい、大字に挑戦してもらった。参加者児童にも保護者にも好評を得た。 <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 字を丁寧に書くように心がけられるようになってよかったです。大きな紙に書けて楽しかったようです。(参加児童の親より) ○ 墨で絵を書いたり、大きな筆を持たせていただいたり、毎回本当に楽しそうでした。(参加児童の親より) ○ 板や大きな紙に書く、学校ではあまりできない事をやって楽しかったです。(参加児童より) 			
教室名	朝霞市放課後子ども教室(朝霞第十小学校)		

		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	80分
名称	能楽教室	所要人数	109名(児童参加人数)
活動場所等	体育館		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや、親に伝統文化のすばらしさを伝えられる。 「飯仲いきいきひろば」の保護者の方にも参加して頂き、「飯仲いきいきひろば」の事業の意義や必要性を知って頂き、ボランティアの登録をして頂くきっかけづくりの場 		
準備する物	<ul style="list-style-type: none"> 講師の打合せ 講師着替え室・長いテーブル1脚 		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>(趣旨)</p> <p>私達の国の長い歴史と伝統の中から生まれ、守り伝えられてきた伝統文化を、子どもたちが歴史・伝統・文化に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育てて頂ければと思います、企画いたしました。</p> <p>(講師)</p> <p>金春流能楽師 山井 綱雄(やまい つなお)先生</p> <p>(プロフィール)</p> <p>1973年(昭和48年)生まれ。 横浜市出身。</p> <p>シテ方金春(こんぱる)流※能楽師。 故梅村平史朗(シテ方金春流能楽師)の孫。</p> <p>※「山井綱雄」先生は、能のシテ方(主役の事)には5つの流儀があり、そのうちの一つの流派である「金春流(こんぱるりゅう)」の能楽師です。</p> <p>「金春流」79世宗家・金春信高、80世宗家・金春安明に師事。</p> <p>「金春流」は、聖徳太子の時代から現在まで1400年以上継承されている最も古い流派。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 能の説明 ○ 能の実演 ○ 能面・太鼓の実演、体験 ○ 着物の体験 <p>◆工夫したところ</p> <p>「飯仲いきいきひろば」登録児童の保護者の方にも参加して頂き、「飯仲いきいきひろば」の事業の意義や必要性を知って頂き、ボランティアの登録をして頂くきっかけづくりをしたこと。</p> <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実際に能面をつけたり、着物を着たり出来てよかった。 ○ 能を生で見られて良かった。 			
教室名	川口市放課後子ども教室「飯仲いきいきひろば」		



		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	90分
名称	流しそうめん大会	所要人数	50名くらい
活動場所等	調理室、広場		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低学年からでも簡単にできます。 ・ 親子で参加することにより親子の絆も深まります。 		
準備するもの	鍋、お椀、ざる、脚立、机、雨どい(プラスチック)、そうめん、キュウリ、ゼリー、めんつゆ、大葉、うどん		
◆内容(作り方)			
(そうめん・うどんの麺づくり)			
<ol style="list-style-type: none"> ① 簡単に作れるようあらかじめ、ゆでるのみの麺を用意する。 ② ゆでた麺は、すぐに冷やしボールなど持ち運びしやすい容器に移しておく。 ③ キュウリ、大葉などの薬味を切ってお皿に用意しておく。 			
			
(会場づくり)			
※ ①、②、③の行程と同時進行で、青少年ボランティアのスタッフと会場説明を行う。			
<ol style="list-style-type: none"> ① プラスチック製の雨どいを、複数つなげて補強をする。 ② きれいに流れるよう、高台から斜めに土台を作り、雨どいを固定する。 			
			
(流しそうめん体験)			
<ol style="list-style-type: none"> ① 会場設営と材料作りが完成したら、順番並びに遊び心を持って体験する。 ② 児童の自主性を重視し、特に順番を決めず、譲り合って行うようにした。 			
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 高校生や大学生の青少年ボランティアに協力してもらいお兄さんお姉さんと一緒に体験したり、一緒に遊んで、夏の暑さにも負けない雰囲気作りを心掛けた。 ○ 参加者が思いやりを持って体験できるよう、とくに順番や制限を決めず譲り合って体験した。 ○ そうめんやうどんだけでなく、一口ゼリーを流して、さらに楽しんでもらうようにした。 			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> ○ はじめて体験したけど、とても楽しかった。 ○ 普段できないことなので、またみんなでぜひやりたいです。 ○ そうめんがそんなに好きではなかったけど、今日で好きになりました。 ○ 前からやりたいと思っていたけど、実現できてよかった。スタッフの人もやさしくて楽しかった。 			
教室名	三郷市放課後子ども教室「わくわく岩みずぬま」		

		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	120分
名称	焼き芋パーティー	所要人数	～40人
活動場所等	学校近くの田んぼ		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校庭の枯葉・枯れ枝を拾うことで、校内美化につながる。 ・ 火の大切さ、有難さを学びます。 		
準備する物	さつまいも・キッチンペーパー・アルミホイル		
◆内容(作り方、遊び方等)			
<p>■ 作業の手順</p> <p>① さつまいもを洗う。</p> <p>② キッチンペーパーを水で濡らし、さつまいもを包む。</p> <p>③ アルミホイルでさつまいもが見えなくなるよう、しっかりと包む。</p> <p>④ 校庭の枯れ枝・枯葉を集める。 ※ ドングリは火に入れると弾けるので入れない。</p> <p>⑤ さつまいもを並べ、落ち葉をかぶせて焼く。</p>			
			
			
			
◆工夫したところ 校内美化を兼ねて、校庭の落ち葉拾いをしました。			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> ・ さつまいもがホクホクして美味しかったです。 煙が目に入って涙がたくさん出ました。 ・ 火の近くに行くと、顔まで熱くなりました。 さつまいもは甘くておいしかったから、またやりたいです。 			
教室名	杉戸町立杉戸第三小学校放課後子ども教室		

		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	3か月間
名称	大根作り	所要人数	～40人
活動場所等	学校農園ほか		
おすすめポイント	食育について学びます。		
準備する物	大根の種・肥料等		
◆内容(作り方、遊び方等)			
① 畑づくり	畑を耕し、肥料をまきます。 畝を作り、種をまきます(1つの穴に3個の種)		
② 間引き	芽が出てきたら、間引きをします。		
③ 水やり	毎日、高学年が当番で水やりをします。		
④ 追肥・草むしり	活動時間内にみんなで行います。		
⑤ 収穫	約3か月後・・・みんなで収穫します。		
⑥ 収穫後は	豚汁を作りました。 おでんを作りました。 お土産に家庭に持ち帰りました。 学校行事で使用しました。		
◆工夫したところ			
①	畑づくり・栽培・収穫と一連の作業を皆で行います。		
②	収穫後は調理をして、皆でいただきます。		
③	地域の農家の方との指導・協力をお願いしました。		
④	収穫後、さまざまな活動(料理)に使用しました。		
◆児童等の感想			
	<ul style="list-style-type: none"> 種を植えて3か月で大きな大根に育った。 みんなで食べたおでんはとてもおいしかった。 大根を収穫しました。 僕の足よりもずーっと太い大きな大根でした。 		
教室名	杉戸町立杉戸第三小学校放課後子ども教室		



		応援団での活用	○
分類	体験・学習	所要時間	1題1分から10分くらい
名称	数字パズル(やさしい数独)	所要人数	何人でも可
活動場所等	教室等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短時間でできる。 ・ 覚えるルールが簡単 ・ 年齢に応じて問題が作成できる。 		
準備する物	鉛筆、消しゴム		

◆内容(作り方、遊び方等)

(問題作成)

- ① ソースネクスト社で販売しているパソコンソフト「数字パズル」で問題を作成しています。
- ② 新聞の日曜版等に掲載されている数独(1～9)のやさしい問題です。
- ③ 本校で実施している問題は、(1～4)【入門・初級】、(1～6)【入門・初級】が多いですが、時には(1～8)【入門・初級】も出題することがあります。

(ルール・遊び方等)

- ① ルールは、縦・横及び四角の中の数字が、異なる数字で重ならないように配置します。
ただし、斜めは重なっても可。
- ② 数字の配置を考えさせるために、良いトレーニングだと思います。アメリカでは認知症のリハビリに利用しているとも聞いています。
- ③ 問題の作成ソフトは、無限に近い問題ができるので、在学中に同一問題になることはないと思います。
- ④ (1～4)の入門問題の解答例です。

(問)

		3	
4			3
		4	1
			4

(答)

	2	3	1	1
	4	1	3	2
	3	4	2	1
	1	2	4	3

◆工夫したところ

- ・ 各学期の最初と最後に実施しており、開始してから数年になります。
- ・ 数字パズル以外に、迷路や図形パズル(タングラムに類似したやさしい問題)等も時々実施しています。

◆児童等の感想

- ・ 高学年は、とても簡単・簡単すぎるとのことだった。
- ・ 子供たちは、それなりに問題の解答を楽しんでいたようです。

教室名	深谷市桜ヶ丘小学校がんばんルーム
-----	------------------

		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	60分
名称	おもしろ数字	所要人数	20～30名
活動場所等	図書室		
おすすめポイント	数の不思議な世界に触れることで、算数が苦手な子も興味がわく効果あり。		
準備する物	プリント、12桁の計算機をグループに1台		
◆内容(作り方、遊び方等)			
<p>おもしろ数字1</p> <p>① 12345679×9 ② 12345679×18 ③ 12345679×27 以下36、45、54など9の倍数をかける。 ①は答えが111111111となる。</p>		<p>おもしろ数字2</p> <p>① 12345679×3 ② 12345679×6 ③ 12345679×12 以下15、21など9の倍数ではない、3の倍数をかける。 ①は37037037と規則正しく数字が並ぶ。</p>	
<p>おもしろ数字3</p> <p>① 987654321×9 ② 987654321×18 ③ 987654321×27 以下36、45、54など9の倍数をかける。 ②は1777777778、③は2666666667のようにかける数が両端に現れる。</p>			
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> 大きな用紙も用意し、速くできたグループに答えを書かせ答え合わせをした。 計算機の扱いが初めての子もいるので、扱い方について前もってよく注意した。 			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> 数字のマジックみたいだった。 計算機が使えて楽しかった。 			
教室名	横瀬町放課後子ども教室		

		応援団での活用	○
分類	体験・学習	所要時間	60分
名称	そろばん教室	所要人数	20人程度(4～6年生)
活動場所等	空き教室		
おすすめポイント	計算ができるようになる。		
準備する物	そろばん (費用:無料)		
◆内容(作り方、遊び方等)			
<ul style="list-style-type: none"> そろばんの使い方(たまのはじきかた)の指導 ↓ 実際に問題を計算してみる。 			
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の授業でそろばんの経験のある4～6年生を対象とした。 ○ そろばんの使い方には個人差があるので、複数の指導者が携わることによって、ついていけない子ども達がでないように配慮した。 			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> ○ はじくのが難しかったが、楽しかった。 ○ 計算した答えがあっという間であってうれしかった。 			
教室名	幸手市放課後子ども教室		

分類	体験・学習	所要時間	120分×2回～5回
名称	ミュージックベル教室	所要人数	5～50人程度(1グループ5～8人程度)
活動場所等	空き教室、公民館等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピアノ等を習っていない子でも誰でもできます。 ・ 学年(年齢)に関係なく音楽作りを楽しむことができ協調性が生まれます。 		
準備する物	楽譜、鉛筆、色鉛筆		

◆内容(作り方、遊び方等)

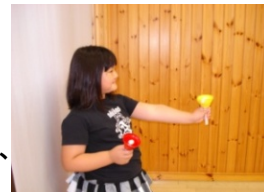
《楽譜作り》

- ① 初心者や低学年は、なじみのある曲(赤とんぼ、キラキラ星)等の歌詞付きの楽譜を用意する。また、その曲に音がいくつあるかを調べておく。
高学年はミュージックベル専用楽譜で和音のあるものも可。
- ② 1曲の音の数を5人～8人程度で音が出せるように分け、その数だけ楽譜をコピーする。
低学年は一人一個ずつベルを持つようにしたり、中学年以上は両手にベルを持てるよう音分けをしたりすると良いと思う。
- ③ 分けた音をミュージックベルの記号に直し、楽譜1枚ずつに記入しておく。(人数分)
- ④ 子供たちに楽譜を配る。
- ⑤ 配られた楽譜を見て自分の鳴らす音に鉛筆で○を書かせる。
- ⑥ 上手に○が付けられたかどうかの確認。さらに演奏しやすいように色鉛筆で○をしっかりと書かせる。



《演奏練習》

- ① 子供たち一人一人にどの音でも良いから、ベルを持たせる。
- ② ベルの持ち方、音の出し方、止め方、音の長さを教える。
- ③ 曲ごとのグループに分かれ、ベルを持たずに歌を歌いながら、自分の音がきたら手を動かしてベルを鳴らせるよう練習する。
- ④ グループのみんなが「できる」と実感できたところから、ベルを持って音を出す練習を繰り返す。
- ⑤ ある程度、曲に合わせてベルが鳴らせるようになったら、ミニ発表会形式にして、自分たち以外の演奏を見たり聴いたりさせる。



《演奏発表》

- ミュージックベル・・・「赤とんぼ」「キラキラ星」「小さな世界」「星に願いを」「ミッキーマウスマーチ」「星の世界」
- 全員合唱・・・「校歌」「語り合おう」「マル・マル・モリ・モリ」「雨ニモマケズ」



◆工夫したところ

- 地域で行われるキャンドルナイトや七つのお祝いなどに出演できるように交渉して、多くの人に演奏を聴いてもらえるようにした。またそのイベントが中止の場合でも学校の体育館を借りて発表会をするなどし練習の成果を保護者に見てもらえるようにした。
- ミュージックベルだけでなく合唱の練習を取り入れた。
- キャンドルナイトのイベントに参加する時は、子供たちにペットボトルを使ったエコを意識した灯ろう作りをした。



◆児童等の感想

- 普通の音階をミュージックベルの記号にした楽譜に○をつけたり、自分のベルを探すのが少し難しかったけど、講師の先生に教えてもらって、上手に演奏できて楽しかった。
- ベルの音はとってもきれいだった。高学年になったら、和音の難しい曲にチャレンジしたい。

分類	体験・学習	所要時間	60分～75分
名称	楽しい音楽<クレッシェンド>	所要人数	何人でも
活動場所等	音楽室		
おすすめポイント	大きな声で歌うことにより、元気になり、笑顔いっぱいになれる。		
準備する物	ピアノ等(ない場合はテープでも)		

◆夏祭りのステージ発表に向けて

夏祭りのステージは野外なので、パフォーマンスを重視し、「ドレミのうた」、「南の島のハメハメハ大王」、「笑顔がかさなれば」を選曲し練習を重ねています。

① ドレミのうた♪

何度か歌い慣れてきたら、子どもたちと話し合いながら簡単な振りをつけてみる。

② 南の島のハメハメハ大王♪

- ・ 調子の良い曲なので夏にはピッタリ。
- ・ 1番から4番まで、4枚の絵を子どもたちに描いてもらい、掲げながら歌う。



③ 笑顔がかさなれば♪

- ・ 有名な曲ではないが、フレーズが覚えやすく元気いっぱいの曲。
- ・ 後半は手拍子や手をつないだりする振りがあり、喜ばれる。
- ・ 初めての子どもたちがいることや、1年生から6年生までの子どもたちが交流し、活動していくうえで、とりかかりにふさわしい。



「糸車」

講座の最後にこれを歌い踊って終了する。

参加児童が39名いるので、3重の円を作る。

1重目が右に進むと2重目は左に、3重目は右に進む。

音楽に合わせて移動し、小さく寄ったり、大きく開いたりしながらギャロップのステップで終わる。

子どもたちはこの曲が大好きで、毎回リクエストが出るほど。



◆工夫したところ

- ・ 1年生から6年生と年齢が離れているため、選曲に工夫を凝らしている。
- ・ 低学年にあわせながら、慣れてきたら2部にしたり、振りをつけたりと1曲の幅を広げるように努めている。
- ・ 上手な歌をめざすのではなく、歌いたくなる環境づくりを理想としている。
- ・ 歌うことで、ワクワクする気持ちや大きな声で歌う喜びを感じられるように、そのうえで協調性が育つように常に指導を心がけている。

◆児童等の感想

- ・ クレッシェンドをやって歌が好きになりました。家でも歌を歌って楽しく毎日が過ごせます。(4年)
- ・ みんなで歌を歌うのが楽しいです。これからも新しい歌をおぼえたいです。(1年)
- ・ クレッシェンドに入っている歌えたりステージ発表をしたり、とっても楽しいです。月曜日が大好きです。(4年)
- ・ 歌やパーカッションを教えていただいてありがとうございます。みんなで歌うと楽しいです。(1年)
- ・ わたしは歌が大好きで、歌うと踊りたくなって楽しい。(1年)
- ・ 知らない歌や新しい歌を教えてもらって、みんなと歌うことが楽しいです。(1年)

教室名	久喜市放課後子ども教室「けやきっ子ゆうゆうプラザ」
-----	---------------------------

分類	体験・学習	所要時間	60分～75分
名称	英語で遊ぼう	所要人数	10人程度
活動場所等	余裕教室等		
おすすめポイント	初めて英語に触れる小学生に、英語に親しみ、楽しんでもらうところからスタート。		
準備する物	参考教材(「CD-ROMブック英語絵カード集400」=アルクキッズ英語編集部編) ホワイトボードとマーカー		

◆講座のねらい

初めて習う外国語は、最初の印象が大事と考えます。

そこでホワイトボードを使用し、アルファベットの読み書きを反復練習し、その後、絵カード(動物&アルファベット、食べ物・飲み物・数字・おもちゃ・文具など)を使用し、遊びながら英語に慣れ親しんでもらうことを目的にしています。



◆遊び方

- 1 ホワイトボードにアルファベットを書き、講師の発声に従って児童も発声する。
- 2 講師が指す文字を発声する。
- 3 児童が、ホワイトボードに発声しながら文字(アルファベットの大文字・小文字)を書く。
- 4 児童に集中力がなくなったら、絵カードを使って遊ぶ。


◆工夫したところ

- 1 週1回(時には2週間に1回)の講座なので、毎回講座の最初はアルファベットの発声及び書き方の反復練習を行っている。
- 2 絵カードを使って遊ぶ場合、参考教材の遊び方ガイドを利用している。

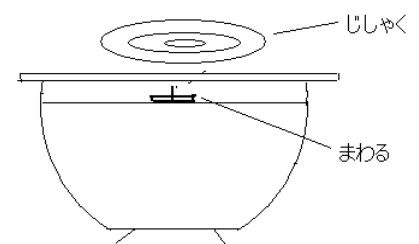
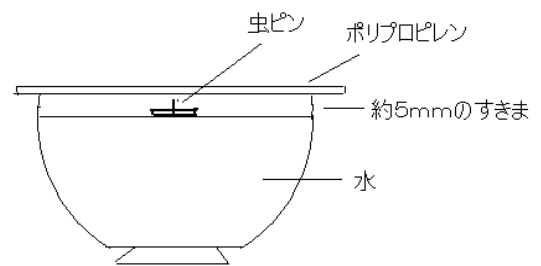
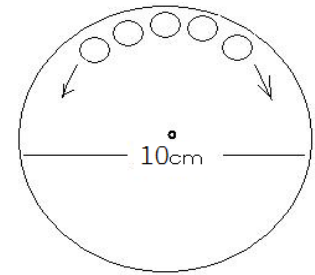
◆児童等の感想(児童の感想原文の一部を漢字に直しています。)

- ・ 英語ですごろくがとても楽しかったです。パズルもとても楽しかったです。英語が楽しいです。(1年)
- ・ 英語が覚えられて良かったです。パズルをやっておもしろかったです。たくさんあるといいなあ。(1年)
- ・ はじめは、はずかしくて手をあげられなかったけど、なれてきたから、たくさんあげられるようになりました。(1年)
- ・ ちがう学年とおともだちになれて、とても楽しくならうことができました。(1年)
- ・ ゆうゆうの英語はとても楽しいです。やっている、学校ですぐに思い出せるのでいいと思いました。(2年)
- ・ ぼくはゆうゆうプラザの英語をいつも楽しみにしています。(2年)
- ・ 英語がとっても楽しいです。英語を書くのが楽しいです。英語をもっとがんばりたいです。(2年)
- ・ ゆうゆうの英語のかるたが楽しかったです。(2年)
- ・ ゆうゆうプラザの英語で遊んだことや学んだことをこれから一生懸命いかしていきます。(3年)

教室名	久喜市放課後子ども教室「けやきっ子ゆうゆうプラザ」
-----	---------------------------

		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	75分
名称	モールヘビを踊らせる	所要人数	20人～30人
活動場所	理科室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短時間で出来て低学年でも遊べる。 ・ 「おもしろ理科実験」の講座の中で、「声と振動」を学ぶ。 		
準備するもの	紙コップ(210mm用)、モール、カレンダー用紙、のり、エンピツ、ハサミ、板目厚紙、セロテープ		
<p>◆内容</p> <p>1. 作り方</p> <p>☆ 紙コップ踊り場を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紙コップの側面に、長さ4cmの切込みを十文字に入れ、外側に折り返して四角い窓をつくる。 ・ 別に、使用済みカレンダー用紙を使って、直径3cm、長さ10cmの紙筒を作り、この窓に差し込みセロテープで固定する。 ⇒ 紙筒は5mm程度差し込み、すき間があっても影響は無い。 ・ この紙筒から「あ～」と声をかけると、紙コップの底が振動する。 ・ 声を効率的にカップの底に伝えるために、板目厚紙で直径73mmの円板を作り、紙コップの口部にセロテープで貼る。 ・ 紙コップの側面に好みのシールを貼ると個性が出せる。(右上図)  <p>☆ モールでヘビを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モールを長さ7cmに切り、指やエンピツに巻いて円形を作りその上に「トグロを巻いたヘビ」を作る。(右中図) ・ 円形の部分は出来るだけ平らにした方が安定する。 ・ ヘビを紙コップの底に置き、筒から「あ～」と声出すとヘビが踊る。 ・ モールで円形を作るとき、巻き方を反対にすると、回転する方向が逆になるのが面白い。  <p>2. 遊ぶ</p> <p>☆ 1人で遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヘビを1匹載せて、出来るだけ速く踊らせる。 ・ ヘビを2匹以上載せて、相撲を取らせる。 <p>☆ 2人以上で遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちはマイ紙カップ、マイヘビを作り、練習した後ホーム&アウェイ方式で、お互いの紙コップ踊り場で、お互いが作ったヘビを持ち寄って相撲を取らせる。 ・ 勝敗はヘビの回転が速いか、長い時間回っていた方を勝ちとする。 ・ 星取表を作ると、数人で遊ぶことが出来る。 ・ ヘビの回転方向が異なる対戦では、面白い戦いとなるので、事前の作戦を立てることも有効である。  <p>※ 参考：おもしろ実験・ものづくり事典 左巻健男 内村浩（東京書籍）</p> <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ヘビをただ廻すだけでは子どもたちはすぐに飽きてしまうので、ヘビを対戦させた。 ○ 自分の踊り場と自分のヘビを作ることにより、対戦して勝てるヘビや声の出し方が工夫される。 ○ 対戦用のヘビは、底辺の円周：15～20mm以内、高さ：25mm以上の条件を設けた。 ○ 紙コップを270mmと大きくしたり、ヘビの条件を変えることで、よりエキサイティングな戦いが出来る。 <p>◆注意すること</p> <p>続けて声を出すと酸欠状態になるので、連続して声を出す時間は5秒(5つ数える)以内とした。</p>			
教室名	久喜市放課後子ども教室「あおげっ子ゆうゆうプラザ」		

		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	30分
名称	アラゴの円板	所要人数	1～2人
活動場所等	空き教室		
おすすめポイント	だれでも作れます。 そして、すぐ動く円板		
準備する物	1円玉 10～15枚、ファイルケース(ポリプロピレン)、接着剤、ラーメンどんぶり、はさみ、虫ピン		
◆内容(作り方、遊び方等)			
① 直径10cmのポリプロピレンの板(ファイルケース)に1円玉をすきまなく接着剤を使用し接着する。円板の中心にキリで穴をあける。			
② ラーメンどんぶりに水を一ぱい入れる。			
③ どんぶりの水の上に円板をしずかにのせる(表面張力でうく)。			
④ どんぶりの上にポリプロピレンの板をのせる(中心に虫ピンを接着剤でつける)。			
⑤ 虫ピンと円板の中心の穴と合わせどんぶりの上のにのせる。			
⑥ どんぶりの中の水の動きがなくなったら			
⑦ どんぶりの上(ファイルケース)から1円玉の上をじしゃくで回す。			
⑧ じしゃくの強弱で回転する早さがちがう。			
◆工夫したところ 軽い円板を作ること。 接着剤などなるべく少なく。			
◆児童等の感想 一円玉はじしゃくにつかないのになぜ回転するのか。家族(祖父、祖母、父、母)にみせてあげたい。 好奇心を持ち、物言を観察する力を身につけた。			
教室名	久喜市放課後子ども教室「三箇ゆうゆうプラザ」		

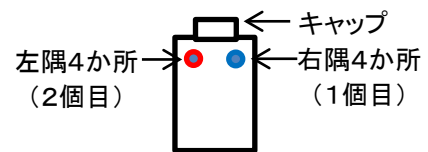


		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	45分
名称	ハンドパワーボトル(浮沈子)	所要人数	20人～30人(1グループ5～6名)
活動場所等	図工室		
おすすめポイント	ペットボトルの中の空気が外から押されると内圧が高くなりたれビンが沈んだり回転したりする。		
準備する物	ペットボトルキャップ付(透明でくびれの無い物)1本、角小たれビン2ヶ、カラーゼムクリップ8ヶ、ヒートン2ヶ、		

◆内容(作り方、遊び方等)

(浮沈たれビン作成)

- ① たれビンのキャップ2ヶの中心部を錐にて穴をあける。
- ② 開けた箇所に、ヒートンを底までねじ込む。
- ③ ヒートンのカールした部分に、カラーゼムクリップを、各4ヶ吊る。
- ④ たれビン一個目の右上隅4か所に錐にて穴をあける。
- ⑤ たれビン二個目の左上隅4か所に錐にて穴をあける。
- ⑥ たれビンに水を入れ浮力の調整をする。



<たれビン>

(動きの確認)

- ① ペットボトルに水を入れ浮沈たれビンを2ヶ入れる。
- ② 沈まず、浮きすぎず、キャップを閉め空気を調整しながら動きの確認をする。
- ③ 正常な動きは、ペットボトルの中間部を手で押すとたれビンが2ヶ沈み、沈んだ状態で押したり緩めたりすると、左右の隅にあけた穴の関係でそれぞれが左右に回転する。
- ④ 浮き、沈みの調整は、たれビン内の水と空気とクリップの重さ、ペットボトルの形状等の関係で一定の決まりはなく調整を繰り返すことが必要です。



◆工夫したところ

- ① たれビン左右4隅の穴あけ位置を間違える生徒が多く、事前に目印を付けた。
- ② 1. 2年生は、ペットボトルの種類によっては押しきれず指導員が動きの確認をした。

◆児童等の感想

制作当日は、事前に各自ペットボトルを持参し未知の工作に各教室は盛り上がっていたようです。浮沈たれビンの動きは、一回で正常に動く子や何度も調整をしゃっと動いた子も多かったが、皆一応に「やった～」の歓声をあげていました。

教室名	蕨市立南小学校区放課後子ども教室
-----	------------------

		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	100分
名称	ダンゴムシの迷路脱出	所要人数	20人～40人程度(1グループ6人程)
活動場所等	空き教室(理科室等)		
おすすめポイント	学年に関係なく楽しめます。(ダンゴムシの習性にびっくり)		
準備する物	工作用紙、鉛筆、はさみ、木工ボンド、ダンゴムシ(元気なもの3ひき程度)		

◆ 内容(作り方)

(迷路作り)

- ① 工作用紙に、迷路を描く。迷路の幅は、1cmする。
- ② 1cm幅に切り取った工作用紙で、迷路の壁を作る。
木工ボンドで丁寧に貼り付ける。
下地の工作用紙にダンボールなどで補強をするとよい。



◆ 遊び方

- ③ → の入り口に元気なダンゴムシを置き、●の出口までのタイムで競う。又は、リーグ戦でタイムを競うのも面白いです。
ダンゴムシは、庭の鉢などの下にいます。



◆ 工夫したところ

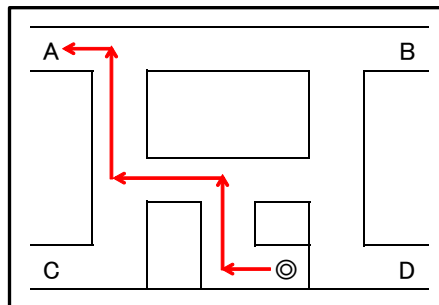
- 迷路が複雑なため、壁を作るとき内側から貼っていくと貼りやすいです。
- 接着面が少ないため、慎重に作業を行い数秒間手で固定するとよい。

◆ 児童等の感想

- 迷路の壁を作るのが少し難しかったけど、低学年は指導員さんが手伝ってくれたので上手にできました。
- 何時も電子ゲームで遊んでいるので、自分で作った物で遊べて嬉しかった。

◆ 先生の感想

- ダンゴムシは丁字路で最初に右に曲がった場合は、次は左に、最初に左に曲がった場合は、次は右に曲がる習性があります。



- 実際にダンゴムシ6匹に各個体3回ずつ歩かせたところ、途中で止まったり壁を登った場合を除けば、約9割の確率でゴールにたどり着きました。
- このようなジグザグ走行は、ダンゴムシが生息する落ち葉の下や石の裏など障害物の多い環境で、効率よく移動する事を可能にすると考えられています。

教室名	鴻巣市立鴻巣東小学校放課後子ども教室
-----	--------------------